

令和2年度
児童相談所受付相談状況

高知県

全体の状況

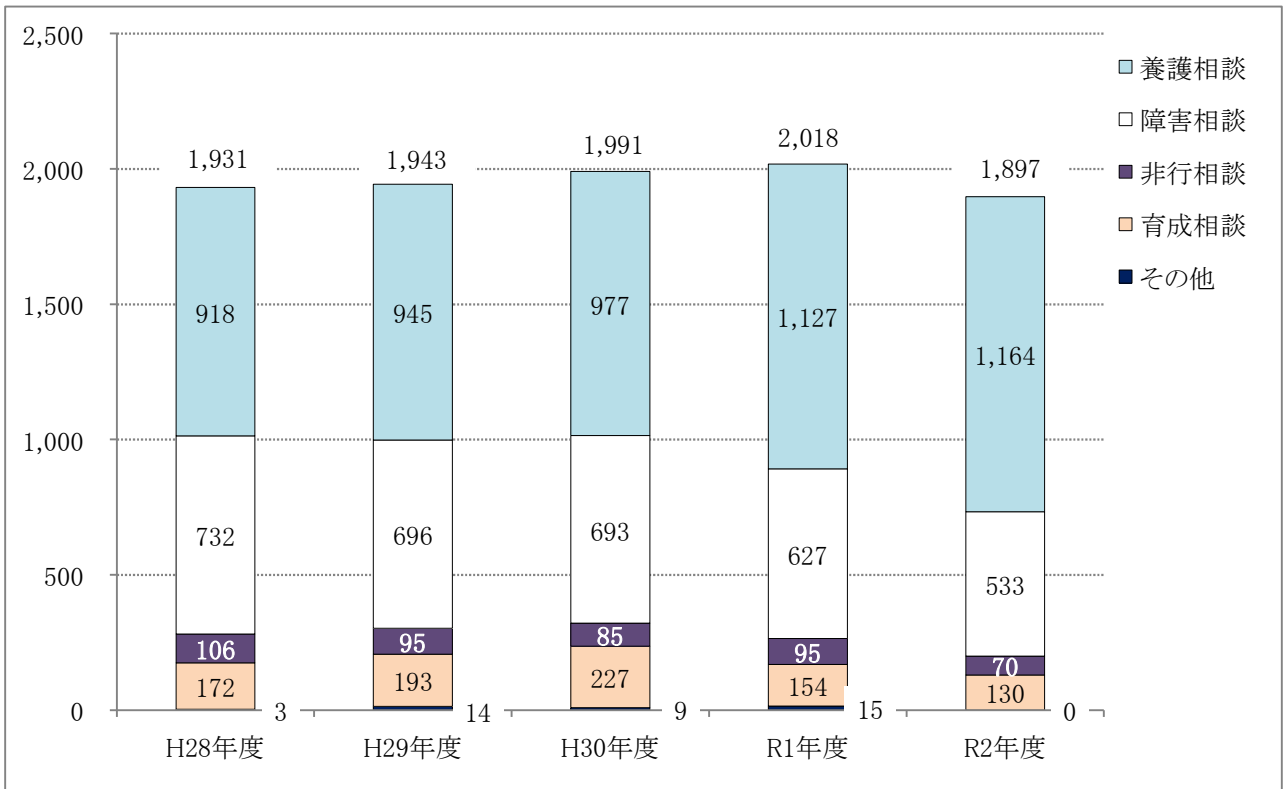
○ 相談種類別受付件数の年次推移

相談種別		H28	H29	H30	R1	R2	
高知県全体	養 護 相 談	918	945	977	1,127	1,164	
	うち虐待通告・相談件数	417	453	595	697	799	
	障 害 相 談	肢 体 不 自 由	1	4	2	4	3
		視 聴 覚 障 害	0	0	0	0	0
		言 語 発 達 障 害 等	93	49	51	19	24
		重 症 心 身 障 害	28	33	30	8	6
		知 的 障 害	564	569	557	553	469
		発 達 障 害	46	41	53	43	31
	小 計	732	696	693	627	533	
	非 行 相 談	ぐ 犯 行 為 等	52	42	46	49	36
		触 法 行 為 等	54	53	39	46	34
		小 計	106	95	85	95	70
	育 成 相 談	性 格 行 動	156	165	206	142	123
		不 登 校	8	25	11	10	4
		適 性	5	0	7	1	2
		育 児 ・ し つ け	3	3	3	1	1
		小 計	172	193	227	154	130
保 健 ・ そ の 他	3	14	9	15	0		
計	1,931	1,943	1,991	2,018	1,897		

○ 相談種類別受付件数の年次推移(相談所別)

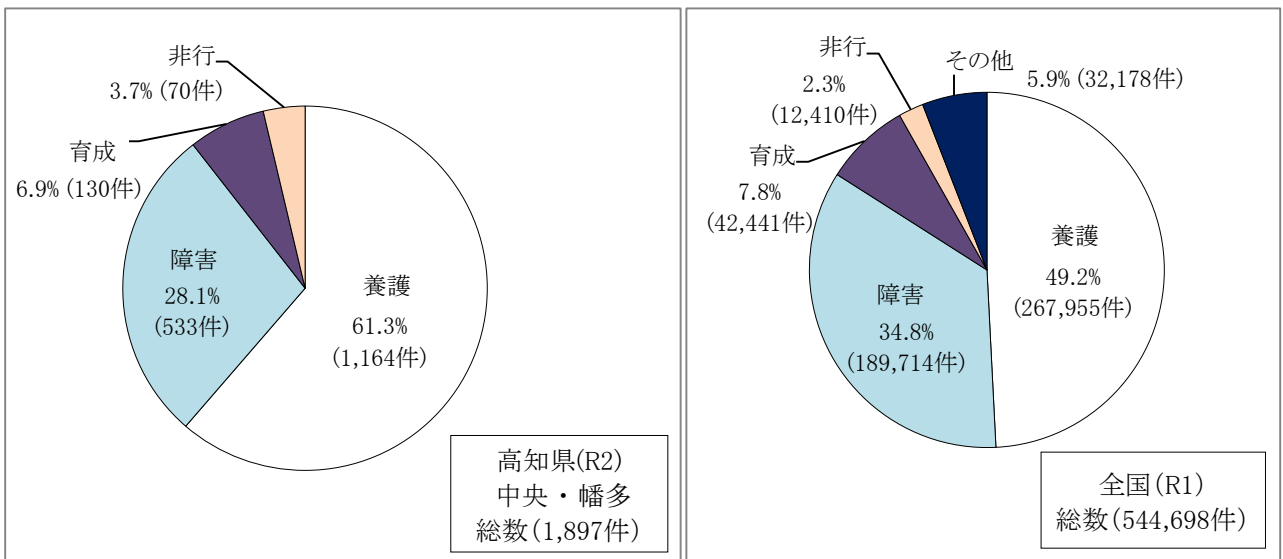
相談種別		H28	H29	H30	R1	R2	
中央児童相談所	養護相談	843	863	878	1,005	1,041	
	うち虐待通告・相談件数	398	404	544	614	722	
	障害相談	肢体不自由				4	3
		視聴覚障害					
		言語発達障害等				3	3
		重症心身障害				6	5
		知的障害			1	487	404
		発達障害				20	8
	小計	0	0	1	520	423	
	非行相談	ぐ犯行為等	48	39	40	45	30
		触法行為等	53	52	37	45	33
		小計	101	91	77	90	63
	育成相談	性格行動	45	46	58	58	57
		不登校性	6	11	2	6	
		適児・しつけ	1			1	2
小計		52	60	60	66	59	
保健・その他	1			6			
計	997	1,014	1,016	1,687	1,586		
(中央児童相談所障害児部門)	養護相談	4	6	1			
	うち虐待通告・相談件数						
	障害相談	肢体不自由	1	2	2		
		視聴覚障害					
		言語発達障害等	74	36	37		
		重症心身障害	26	32	28		
		知的障害	489	503	485		
		発達障害	19	15	10		
	小計	609	588	562	0	0	
	非行相談	ぐ犯行為等	1	1	1		
		触法行為等					
	小計	1	1	1	0	0	
	育成相談	性格行動	40	60	75		
		不登校性		3	2		
		適児・しつけ	3		7		
小計		46	63	87	0	0	
保健・その他							
計	660	658	651	0	0		
幡多児童相談所	養護相談	71	76	98	122	123	
	うち虐待通告・相談件数	19	49	51	83	77	
	障害相談	肢体不自由		2			
		視聴覚障害					
		言語発達障害等	19	13	14	16	21
		重症心身障害	2	1	2	2	1
		知的障害	75	66	71	66	65
		発達障害	27	26	43	23	23
	小計	123	108	130	107	110	
	非行相談	ぐ犯行為等	3	2	5	4	6
		触法行為等	1	1	2	1	1
	小計	4	3	7	5	7	
	育成相談	性格行動	71	59	73	84	66
		不登校性	2	11	7	4	4
		適児・しつけ	1				
小計		74	70	80	88	71	
保健・その他	2	14	9	9			
計	274	271	324	331	311		

○相談種類別受付件数の年次推移



(注) 本県では、平成30年度までは、中央児童相談所管内の障害相談については、療育福祉センターが担当していたため、同センター取扱い分を加えて比較している。

○相談種類別構成比の全国(R1)との比較



* 出典：厚生労働省『福祉行政報告例』

高知県 (件数)

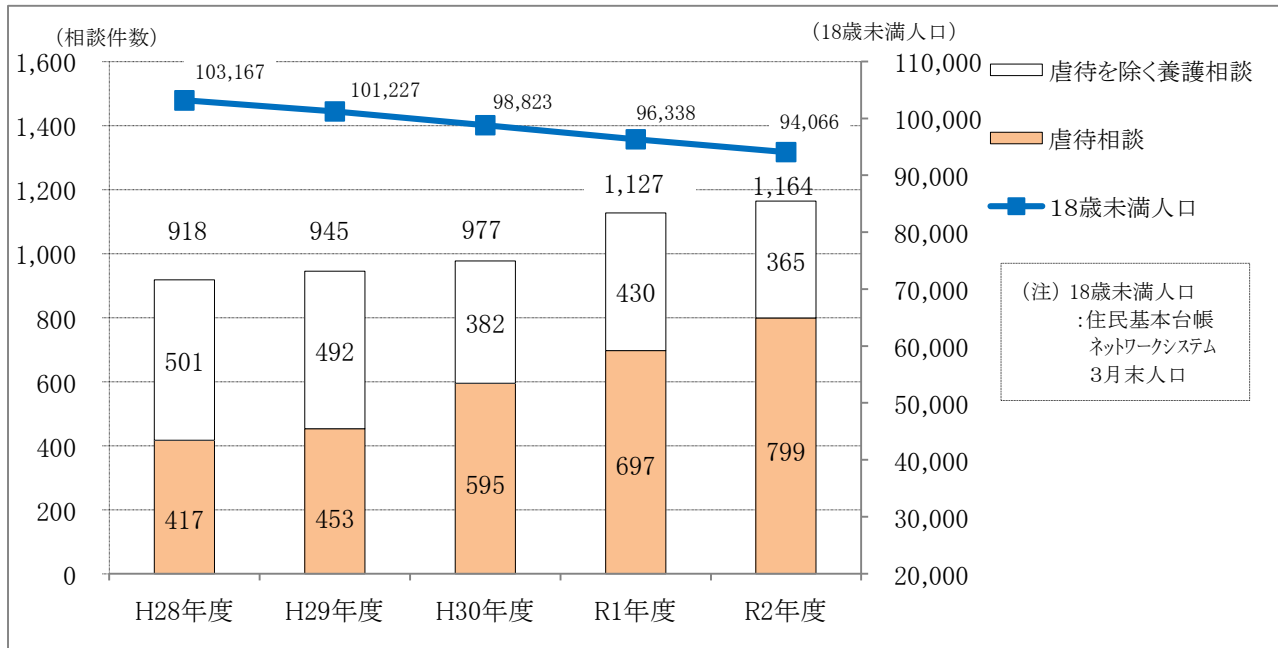
	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度
養護	918	945	977	1,127	1,164
障害	732	696	693	627	533
非行	106	95	85	95	70
育成	172	193	227	154	130
その他	3	14	9	15	0
計	1,931	1,943	1,991	2,018	1,897

全国 (件数) ※R2年度速報値は未公表

	28年度	29年度	30年度	R1年度
養護	184,314	195,786	228,719	267,955
障害	185,186	185,032	188,702	189,714
非行	14,398	14,110	13,333	12,410
育成	45,830	43,446	43,594	42,441
その他	27,744	28,506	30,508	32,178
計	457,472	466,880	504,856	544,698

養護相談(虐待相談を含む)と非行相談の状況等

1 子ども人口と養護相談受付件数の推移



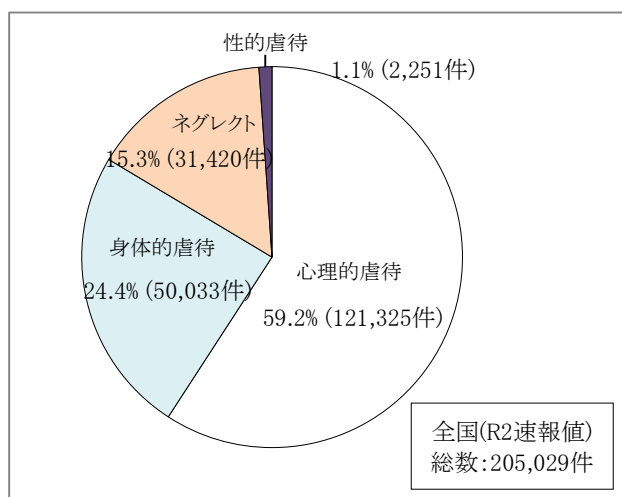
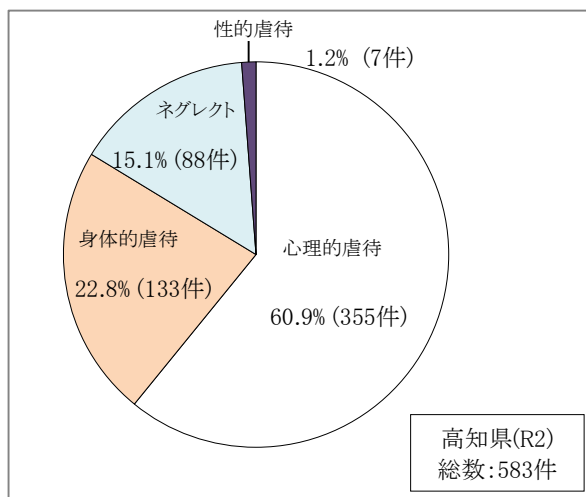
養護相談：養育困難（保護者の家出・失踪、死亡、離婚、入院、就労及び服役等）、迷子に関する相談、及び虐待相談（身体的虐待・心理的虐待・性的虐待・ネグレクトに関する相談）

2 児童虐待(令和2年度)

(1) 児童虐待相談対応件数 (※対応件数:相談受理後、調査し虐待と認定し対応した件数)

	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
受付件数	417	453	595	697	799
対応件数	291	326	420	458	583

(2) 虐待の種類の構成割合



高知県(件数)

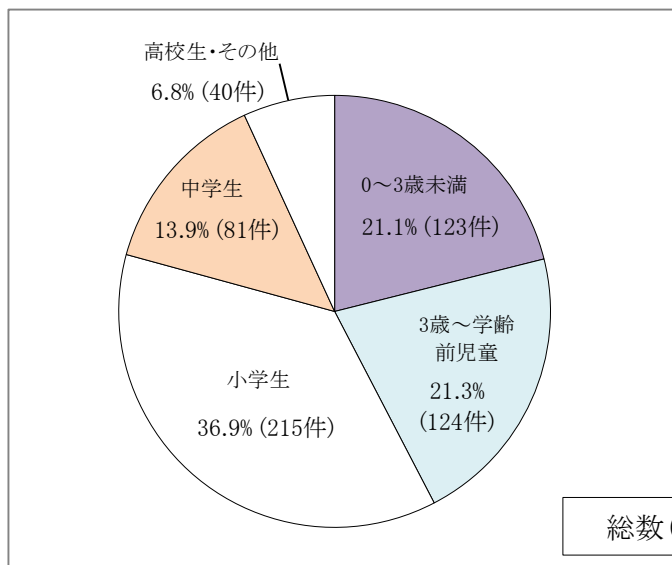
	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度
心理的虐待	113	184	273	241	355
ネグレクト	99	82	78	125	88
身体的虐待	72	55	66	87	133
性的虐待	7	5	3	5	7
計	291	326	420	458	583

全国(件数)

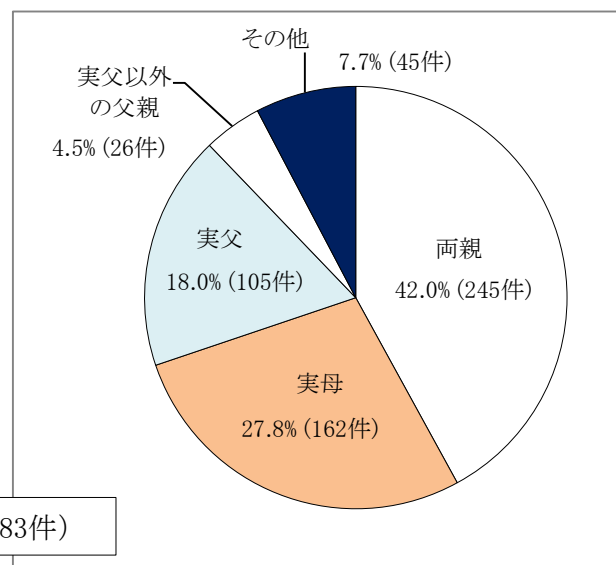
	29年度	30年度	R1年度	R2年度
心理的虐待	72,197	88,391	109,118	121,325
ネグレクト	26,821	29,479	33,345	31,420
身体的虐待	33,223	40,238	49,240	50,033
性的虐待	1,537	1,730	2,077	2,251
計	133,778	159,838	193,780	205,029

(速報値)

(3) 被虐待児の年齢別構成割合



(4) 主たる虐待者



(注) 主たる虐待者の『その他』は、実母と内縁男性19件、養父と実母6件、祖母5件、祖父4件、継父と実母・実母と祖母・実母と交際相手・里父各2件、実父と祖父・実父と祖母・実母の内縁男性各1件

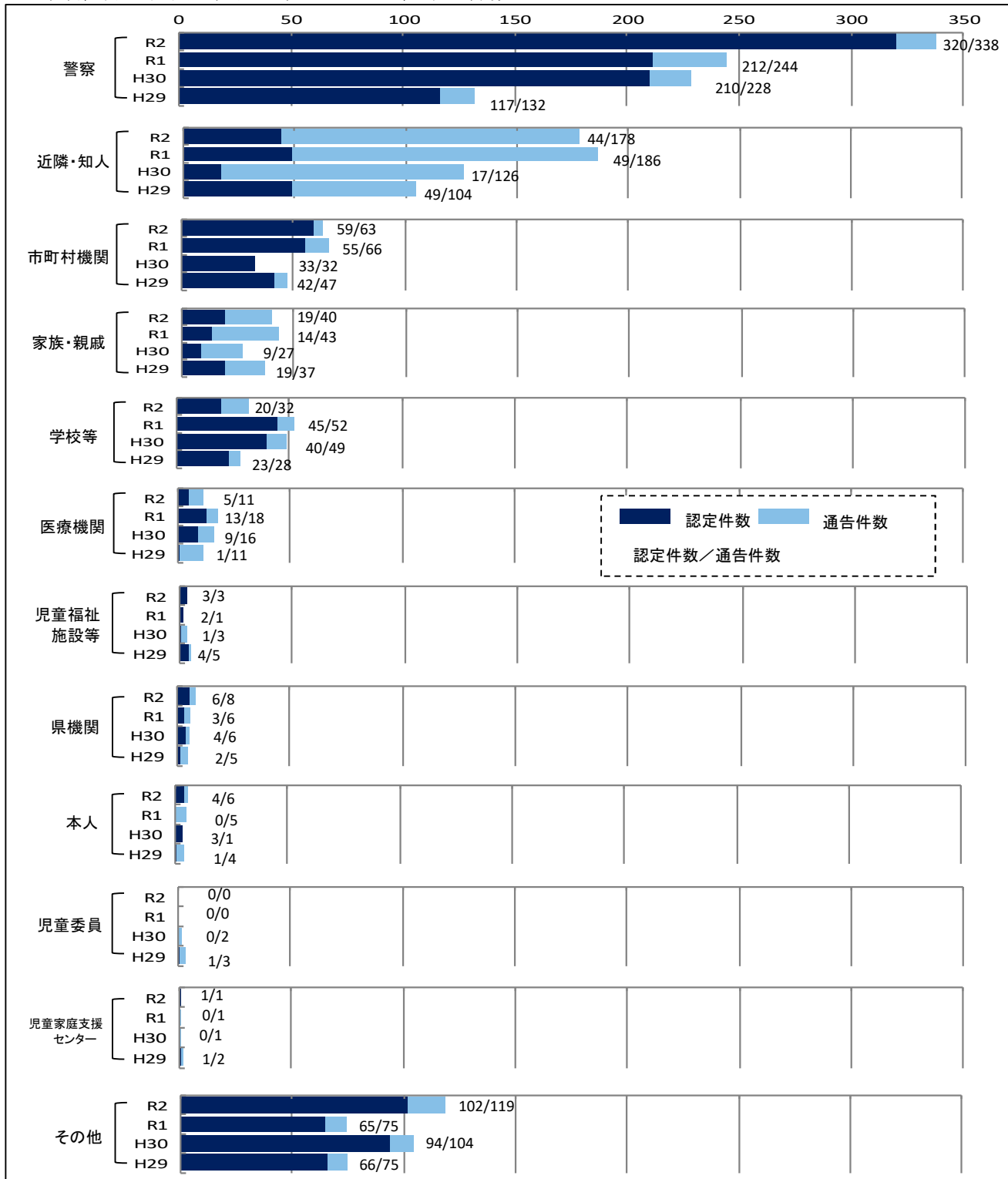
被虐待児の年齢別(件数)

	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度
0～3歳未満	67	80	114	92	123
3歳～学齢前児童	59	71	79	103	124
小学生	107	113	132	155	215
中学生	38	38	63	71	81
高校生以上	20	24	32	37	40
計	291	326	420	458	583

主たる虐待者(件数)

	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度
両親	99	122	135	176	245
実父	58	92	130	103	105
実母	108	88	99	125	162
実父以外の父親	6	6	16	17	26
実母以外の母親				2	
その他	20	18	40	35	45
計	291	326	420	458	583

(5) 虐待通告及び認定・対応ケースの経路別件数



		警察等	近隣・知人	市町村機関	家族・親戚	学校等	医療機関	児童福祉施設等	県機関	本人	児童委員	児童家庭支援センター	その他	計
R2年度	認定	320	44	59	19	20	5	3	6	4	0	1	102	583
	通告	338	178	63	40	32	11	3	8	6	0	1	119	799
R1年度	認定	212	49	55	14	45	13	2	3	0	0	0	65	458
	通告	244	186	66	43	52	18	1	6	5	0	1	75	697
30年度	認定	210	17	33	9	40	9	1	4	3	0	0	94	420
	通告	228	126	32	27	49	16	3	6	1	2	1	104	595
29年度	認定	117	49	42	19	23	1	4	2	1	1	1	66	326
	通告	132	104	47	37	28	11	5	5	4	3	2	75	453

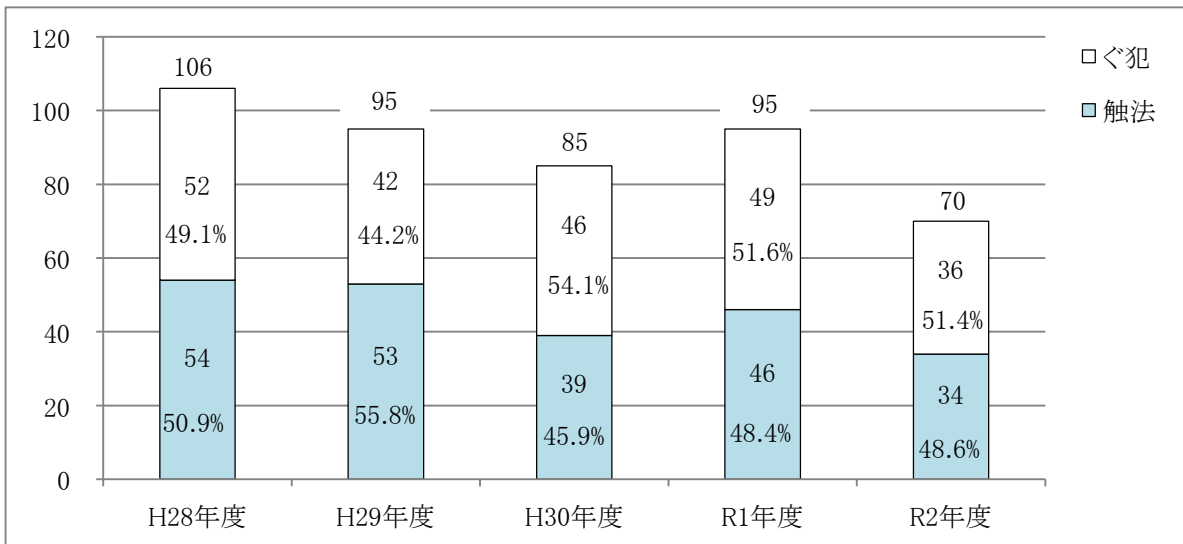
※グラフ(2)～(5)は、児童虐待として児童相談所に通告のあった799件及び児童虐待として対応した583件について分析したもの。

また、虐待として認定されたもののうち、12件が一時保護中のため次年度の件数として持ち越された。

※『その他』は他県児相からの移管や県民からの通告及びきょうだいケースで虐待認定したもの。

3 非行相談

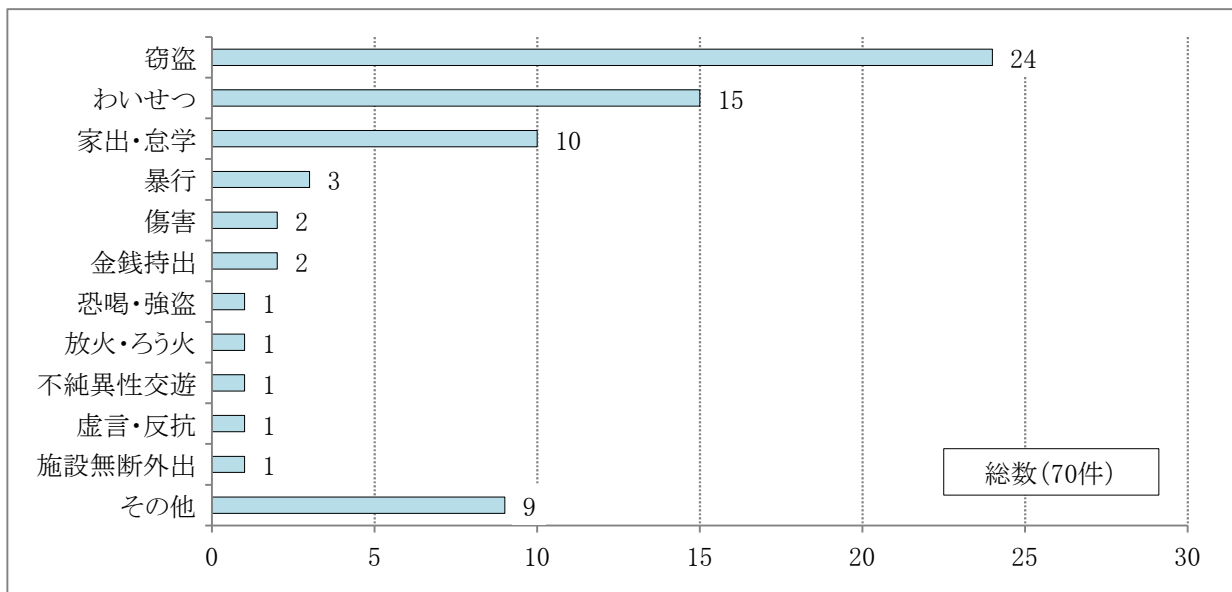
(1) ぐ犯・触法相談受付件数の年次別推移



(注) ぐ犯相談：虚言癖・家出・乱暴・飲酒・不純異性交遊等のぐ犯行為、問題行動のある子ども(ぐ犯少年)に関する相談。

触法相談：窃盗・傷害・放火等触法行為があったとして警察からの通告があった子ども(触法少年)や家裁から送致のあった子ども(犯罪少年)に関する相談。

(2) 非行相談の主訴別件数(令和2年度)



(注) 『その他』の内容：器物損壊3件、建造物侵入3件、情報提供2件、詐欺1件

	29年度	30年度	R1年度	R2年度
窃盗	40	39	38	24
家出・怠学	16	9	9	10
金銭持出	10	3	8	2
わいせつ	8	10	11	15
暴行	5	4	6	3
不純異性交遊	4	4	5	1
粗暴	4	1	3	0
傷害	2	2	3	2
放火・ろう火	2	1	0	1
虚言・反抗	1	5	1	1
薬物乱用・飲酒・喫煙	0	1	0	0
施設無断外出	0	3	1	1
恐喝・強盗	0	1	0	1
その他	2	1	10	9
計	94	84	95	70

一時保護(委託)の状況

	H28年度			H29年度			H30年度			R1年度			R2年度		
	一保	委託	計	一保	委託	計	一保	委託	計	一保	委託	計	一保	委託	計
虐待	113 (72)	119 (45)	232 (117)	99 (48)	61 (26)	160 (74)	87 (54)	63 (29)	150 (83)	80 (54)	69 (25)	149 (79)	123 (87)	69 (38)	192 (125)
その他	74 (21)	99 (5)	173 (26)	73 (13)	57 (2)	130 (15)	110 (26)	83 (10)	193 (36)	109 (28)	118 (6)	227 (34)	68 (21)	94 (19)	162 (40)
計	187 (93)	218 (50)	405 (143)	172 (61)	118 (28)	290 (89)	197 (80)	146 (39)	343 (119)	189 (82)	187 (31)	376 (113)	191 (108)	163 (57)	354 (165)

※年度内に一時保護を開始した件数

※()は、職権保護数で内数